

令和3年度 磐田市立豊岡南小学校 学校評価書

重点	目標・取組	評価指標	目標値	自己評価	考察・改善策	学校関係者評価委員から
進んで学ぼう	<ul style="list-style-type: none"> 主体的に考え、学びをよりよくする子に向けた授業改善 端末の効果的な活用の検討と実践紹介 	授業の内容がよく分かる。	90	A	○「授業内容がよく分かる」と回答した児童は94.4%であり、高い数値であった。「主体的に考え、学びをよりよくする子」～自分事として学び、学びの質を高める授業～をテーマに授業改善に取り組んできた成果であると考え。一人一台、端末が導入され、端末を利用して教師と児童のやり取りや児童同士の交流を図ったことが内容理解にもつながったと考えられる。今後も、子供たちが学習内容を「自分事」としてとらえ、「学びの実感」を味わいながら、自分自身の「学びの質」を高めていくことができる授業づくりに努めていきたい。 ※「進んで意見や考えを発表する」の項目では、児童の数値は下がっている。コロナ禍の中で、対話的な学習や体験的な学習が昨年度以上にできないという制約があったことも理由の一つではあるが、児童が主体的に「考えたい(自分で、友達と)」、「考えたことを伝えたい」となる授業となるよう、教師の授業力向上や端末の効果的な使用に努めていきたい。	・児童一人一人がそれぞれの目標に取り組んでいると感じる。児童がより深く学びたいと思う環境作りを学校と保護者で作っていききたい。 ・児童がタブレットを使えるようになっている。ICT機器を使いこなすことは将来的に必要不可欠な力。様々な活動でタブレットを使用したらどうか。(例:プレゼン形式での発表)(読書郵便⇒読書メール) ・非常時にリモートでの学習ができるようなシステムが構築されるとよい。
		進んで質問したり調べたりする。	80	A		
		進んで読書をする。	80	B		
		毎日、宿題や予習・復習の自主学習、読書などの家庭学習に取り組んでいる。(学年×10分+10分)	85	A		
		進んで自分の意見や考えを発言する。	80	B		
CPなどを使って自分の考えをまとめたりわかりやすく相手に伝えている。	85	A				
思いやをりものとう	<ul style="list-style-type: none"> 挨拶に焦点化しためあてを立て、挨拶向上を図った。 学級力向上プロジェクトの実施 	学校が楽しいと感じている。	90	A	○どの項目も目標値に達成している。「進んであいさつをする」は本校児童の自慢の一つもなっている。。学校全体で挨拶を推進した取組、登下校時の地域の方からの挨拶、「学級向上プロジェクト」における各学級での取組等が効果的であったと考える。 ○「ふわふわ言葉を使う」は、児童・保護者・教師全てで昨年度以上、「自分と異なる意見や考えを認めている」も昨年度以上となった。道徳科の授業で学習したことを普段の生活に生かせるよう、学校教育全体を通じた道徳教育の充実を図ったこと、挨拶同様に「学級力向上プログラム」において児童主体で取組を考え実践したこととの成果であると考え。 ※「学校が楽しい」子ども90%を超えている。保護者の数値も94.4%と昨年度を上回ったが、「楽しくないあまり楽しくない」と回答した子が28人いる。児童理解をより一層深め、一人ひとりに寄り添った支援に努めることで、学校で過ごすことの楽しさをどの子にも味わわせ、自己有用感を高めていきたい。	・学校へ行くと、子ども達がいつも元気な声で挨拶してくれて、大変うれしい。進んで挨拶できることはとても素晴らしいことだ。 ・今後求められる、「多様性を受け入れる柔軟性」をより高めていける学校作りが大切だと思う。
		進んであいさつをする。	80	A		
		友達を思いやった「ふわふわ言葉」をつかっている。	85	A		
		学級(学校)は、互いにルールを守り、協力して生活している。	85	A		
		自分と異なる意見や考えを認めている。	90	A		
元気なく体をう	<ul style="list-style-type: none"> 月1回の「健康の日」による健康意識の向上 体育授業や体育的行事においてめあてをもつ場や時間の設定 	めあてをもって進んで運動に取り組んでいる。	85	B	○体育授業では、コロナ感染対策で運動に制限があった中であつたが、端末を用いて自分の動きを撮影し、確認することで児童が明確な目標を持って、活動に取り組むことができた。 ○「早寝・早起きをしている」が昨年度より約5%上がった。健康の日の取組による子どもの意識の高まりや家庭での声掛けや励ましによると考える。 ○清掃ボランティアの方が精力的に活動している。今年度は各教室に合った清掃マニュアルを作成してくださった。マニュアル作成とともに清掃指導も積極的に行ってくださることで児童も清掃への意識が高まった。 ※新体力テストの記録は、依然、磐周平均を下回っている種目が多い。体力向上に向け、手立てを図ることで、児童にとって運動することが日常的になるようにしていきたい。	・清掃マニュアルができたことで子ども達は清掃に対する目的を理解し、自分のやるべきことが明確になったと思う。 ・感染症が流行してから、運動の行事が制限され、運動不足が気になる。一斉にチャレンジする場が欲しいのではないかと。 ・体力テストについて、外遊びの時間や内容等、他校と比べて違いがあるのか。 ・残食0を目指したり、家庭への食事調査をしたりすることで食事への意識が高まるのではないかと。
		早寝・早起きをしている。	80	A		
		自分の体のことを考えて食べている。	85	B		
		廊下や階段は右側を歩いている。	85	B		
		清掃に一生懸命取り組んでいる。	90	A		
その他	<ul style="list-style-type: none"> 児童について定期的に情報交換をする場の設定(ミニハートケア) 地域人材の積極的活用 	夢や目標に向かって頑張っている。	85	A	○「夢や目標に向かって頑張っている。」と回答した児童は、89.3%と昨年より下がってしまったが比較的高い数値であった。保護者は84.7%と昨年より約5%上昇した。子供たちが夢や目標(なりたい自分)をもち、未来に向かってすくすくと成長する基盤となる道徳性を養うために、本年も道徳教育の充実を図ってきた。これまでの継続が今年度も数値として表れている。 ○「先生は子供のことを理解して指導に当たっている」と答えた児童が95%、保護者は94.7%と高い数値であった。担任一人で児童理解をするのではなく、学年や教科で入っている教員と適宜、情報共有したことで児童理解を深めることができた。その児童理解が個に合った支援につながったと考えられる。また、保健室登校や不登校の児童へも端末を使って授業内容や連絡事項を伝えたりすることで教師との交流もこれまで以上にできるようになった。今後も多くの目で児童を見取ること深い児童理解をしていき、児童と教師の信頼関係の上に立った教育活動ができるよう努めていく。 ※「中学校での学習や生活を楽しみにしている」が75%と低かった。中学校へ進学することで環境や生活など様々な変化への不安を抱えている児童が多い。不安を少しでも軽減したり、不安に打ち勝つ心を養ったりして進学できるよう、手立てを中学校と共に検討していきたい。	・教師が児童や授業に対して専念できるように、人手が足りないところを地域人材でフォローすべきたと思う。 ・児童の夢や目標の基盤が道徳の授業によって作られていると思う。 ・コロナ禍で難しいが、年に1・2回6年生が中学校を見学したり中学生と交流したりする場が必要だと思う。 ・保護者の達成度が全体的に下がったのは、学校での様子を見学したり中学生と交流したりする場が必要だと思う。 ・先生方はコロナによって大変な中でも児童を見守り、指導してくれて感謝している。学校でしか学べないことを今後も教えてほしい。 ・学校と地域社会の関わり合いが非常に大切だと思う。
		中学校での学習や生活を楽しみにしている。(6年)	90	B		
		道徳の授業が楽しい。	90	B		
		学校に相談できる友達や先生がいる。	90	B		
		先生は子供のことを理解して指導に当たっている。	90	A		
		農作物を育てる体験やひろせ学習を通して、地域の歴史や自然、産業について関心がある。	85	B		
		学校で目指そうとしている子どもの姿や教育内容について知っている。(保護者)	90	B		
		豊岡南小学校は、応援しがいのある学校である。(保護者)	90	A		

学校関係者評価を受けてのまとめ

今年度も新型コロナウイルス感染症防止のため、子ども達の学習活動や保護者・地域の方の参観を制限することとなった。今後もこの状況が続くことが考えられる。制限がある中でも、タブレット端末を効果的に使用しながら、子ども達の学びをより充実させること、また、参観会や懇談会等の直接的な機会ではなくても、子ども達や学校の様子が保護者や地域にこれまで以上に伝わるように伝え方を工夫していくことが大切であると考え。また、本校が目指している子どもの姿や教育内容について、保護者や地域の方に伝え、理解してもらうことで三者が連携・協働を図り、「夢をもち たくましくしなやかな ひろせっ子」を共に育てていきたい。